



UMEX 夢っくす ニュース

かわらばん 冬号

たこ焼きパーティー（日本語サロン）

大嶋 映子

日本語チューター募集



明けましておめでとうございます。昨年も夢っくすの活動にご協力頂きましてありがとうございました。今年も楽しく活動していきたいと思っておりますので宜しくお願い致します。

さて、昨年の秋に新しい学生を迎え、新たに日本語チューターのペアがたくさんできました。ただ残念ながらあと8名の学生さんのチューターが見つかっておりません。詳細は1月21日（日）の新年会に来て頂くか、FAXで日本語チューター申込書（秋号で送付済み）を送ってください。宜しくお願い致します。（高橋 和子）

秋学期も終わりに近づいた12月12日（火）に日本語サロンでたこ焼きパーティーを行いました。学期末試験の最中、ベトナムのズンさんとクワンさん、インドネシアのオチャさん、スリランカのネルカさんが参加。いつもの夢っくすメンバーで総勢11名でした。学生さんたちはたこ焼きは大好きだけど作ったことはないに興味津々。今回は材料も分かりやすいように、た



こ焼き粉は使用せず、小麦粉にだし汁や卵、みじん切りのネギ、きゃべつ、紅シヨウガ、天かすなどを使用したシンプルなものにしました。森本さんが30個用のプレートを持ってきてくださり、3回焼いたので90個をあっという間にたいらげました。生地を流し込んでからひっくり返すまで10分位でしょうか、クワンさんは待ちきれずにたこ焼きをひっくり返そうとするもまだ柔らかくてポロポロに。何個か練習するうちに最後には見事な真ん丸のたこ焼きが出来上がり大喜びでした。食べるのも初めてだったネルカさん。「1つでいいです」と控え気味でしたが、帰る頃には「たこ焼き器はどこで買えますか?!」と大ファンになってくれました。準備は大変でしたが、初？たこ焼きパーティーは大成功でした。熱々のたこ焼きを食べな



がら見せてくれた笑顔、それだけで我々も幸せな気持ちでいっぱいになりました。

後日、会員の千喜良たまきさんがスペインで日本料理の教室を開き、その報告会がありました。「食」は大切なコミュニケーションツールの一つ、言葉が通じなくても美味しいものを食べれば笑顔になれる。「食」は文化そのものと。まさにその通りだなと感じました。次回はどんな「食」を通じた交流になるのか楽しみです。



カルティフェスタ

田中 美智子

11月25日（土）に国際大学でカルティフェスタが行われました。チューターをしている学生さんからダンスをしますから見に来て下さい、と誘って頂き行ってきました。夕方6時から始まるということで、早めの晩御飯を済ませて出かけましたが、ジムの外にはクレープや麺など屋台の車が何台か来ていて、そこで食べている人達も沢山いました。今年も学生さん達は民族衣装に身を包んだり揃いのTシャツを着たりして楽しいダンスでした。また、八海酒造が試飲コーナーを出していて、学生さん

達が試飲していました。日本酒ファンが増えると良いですね。

春のインターナショナルフェスティバルと違って、カルティフェスタは学生自治会の主催によるもので、あまり外部への周知は熱心ではないようです。学外と思われる人は非常に少なく、夢っくすのメンバーにはほとんど出会えず残念でした。知らなかった人もいたようですが毎年やっているのだから是非出掛けてみて下さい。





ハロウィンパーティー 角屋 志津子

10月29日(日)にキッズサロンで毎年恒例のハロウィンパーティーを行いました。学生さん家族や夢っくす会員の方など大勢の方よりご参加いただきました。

魔女・プリンセス・ドラキュラなど皆さんオリジナリティ溢れたコスチュームで参加され、それだけで会場が盛り上がりハロウィンの雰囲気を感じることが出来ます。

今回の内容は、イス取りゲームとハロウィンリース、お菓子のプレゼント、ランチパーティーです。

イス取りゲームはキッズイベントでよく行うのですが、集まった人を和ませ一気にコミュニケーションをとりやすい雰囲気になります。主に自分が身につけている色をメインにしてグルグルイス取りゲームをします。子どもも大人も大喜び!とても楽しくできました。

次にハロウィンリース作りでは、色とりどり皆さんのアイデア満載のとっても素敵なリースがたくさんできました。少しでもハロウィンの雰囲気がご自宅でも感じてもらえるよう、飾ってもらえたかな。

ランチパーティーとお菓子のプレゼントでは、皆さんから様々なお料理やお菓子が持ち寄られ、おなかいっぱいになり私自身もお土産もいっぱいいただきました。ありがとうございました。

今回のハロウィンパーティーも盛況で終わることができ感謝しています。また次回イベントなどで皆さんの笑顔に会える日を楽しみにしています。

クリスマスパーティー 伊藤 峻

9月23日(土)にクリスマスパーティーが開催され、40名程の参加者と楽しい時間を過ごしました。

今回は先ず、ホワイトボードのデコレーションにチャレンジしました。子供たちはテープや小物を使い、上手に飾りつけをしました。ある程度仕上がると、自慢のホワイトボードを使ったお絵かきタイムとなり、多くの画伯によってクリスマスツリーや車などの絵が描かれていました。美味しい持ち寄りのお昼と子供たち



手作りのクリスマスケーキを食べた後、最後は子供たちのクリスマスプレゼントがくじ引きによって決められました。大きな新幹線のおもちゃは大人気で、もらった男の子はとても嬉しそうにしていました。

私はキッズイベントに参加するのは、前回のハロウィンパーティーに続き2回目のことでしたが、可愛い子供たちの姿をみるのはとても癒されますね。外国の子供たちとは、言葉が通じなくても表情とジェスチャーでコミュニケーションがとれることも魅力的だと思います。次回のキッズイベントも楽しみです。



十日町高校「異文化交流授業」 高橋 和子

県立十日町高校から依頼があり、11月8日(水)に国際大学の学生さん15名と一緒に異文化交流授業に行って来ました。当日は学生さんにとっては試験中で当初は参加できるかどうかギリギリまで心配でしたが、GSO(学生自治会)の協力で15名の方々が参加してくれました。

南スーダン、ボスニアヘルツェゴビナ、ネパール、ベトナム、マダガスカル、ウズベキスタン、スリランカ、ミャンマー、フィリピン、モロッコ、アメリカ…彼らは、二人一組となり、二年生の7クラスを30分づつ回りました。こんなに多くの外国人の方からそれぞれの国の話を直接を聞ける高校生は日本中でも十日町高校だけではないかと思うほど素晴らしい授業でし

た。高校生達もそれぞれ十日町市の紹介や日本の紹介を行いました。まだ10月に来日したばかりの学生さんにとっても十日町市を知るよい機会になったのではと思います。

2時間の授業はあっという間に終わり、学生さん達は高校生達に囲まれて楽しそうに写真撮影をしていました。短い時間ではありましたが、これを機会に高校生達が広い視野を持ち、海外に対する興味関心を高めて頂けると幸いです。学生さんの送迎をお手伝い頂いた野口さん、佐藤さん、ありがとうございました。

マダガスカル料理をいただいて 小島 由美

アフリカ大陸の東南に位置する島国で大自然と希少動物の宝庫……私のマダガスカルの認識はこの程度でした。こんな私に新たな世界を拓いてくれたのがマダガスカル出身の学生ジョエルさんと奥さんのララさんです。

聡明でフレンドリーな夫妻と、互いの国の文化を紹介したり一緒に外出したりして、程なく仲良しの友人になりました。マダガスカルは島国なので、海産物が豊富なこと、他国の文化を受け入れる柔軟さがあることなど、日本との共通点に親近感が湧きました。ある時、マダガスカルの料理



を食べてみたいと言ったところ、お母さんがララさんの出産の手伝いで来日するから、お袋の味を作ってもらおう！ということになりました。



ララさんが無事に女の子を出産した後、私たちはお宅に招待されました。ジョエルさんのお母さんアニックさんは明るく優しい方で、初対面の私たちを、心が込もった美味しい料理でもてなしてくださいました。

大昔のこと、マレー系の人々がインド洋を渡ってマダガスカルに来た、といわれているそうです。食文化はアジア色が強く、お米を主食におかずを添えて一緒に食べるスタイルです。私たちは、オリーブオイルと塩だけで作った野菜料理をいただきました。どんな野菜でも作れるそうですが、この日は、ブロッコリー、カリフラワー、アスパラガス、人参、きのこ類と香味野菜を煮た料理で、素材の味を生かしていました。また、アニックさんがマダガスカルから持参した「カバロ」という、白インゲンに似たライ豆がよく食べら

れるそうで、カバロと豚肉の煮込み料理を作ってください、柔らかくてまろやかで美味しかったです。驚いたのは、トマトと葱のサラダです。葱がマダガスカルでも食べられていること、またトマトと和えると味が馴染んで食べやすいことを知りました。全体的に、スパイスを使わない自然な味と香りで、日本人の口に合うヘルシーな料理でした。

アニックさんの帰国前には、私たちが和食を用意して、再びかけがえのない時間を過ごしました。3人とも、どれも美味しい！と言ってくれ、特にこんにゃくの食感に感激していました。出汁や醤油を使った和食の文化をうまく伝えられて、私たちも嬉しく誇りに思いました。

外国の方と家庭料理を共にすると自然体で心地良いお付き合いができます。これはきっと世界共通のことなのだと思います。日本とマダガスカルは遠く離れていますが、素敵な出会いと新しい発見に恵まれたことに感謝しています。

Flea Market

新入生が目立ち始めた10月1日(日)にフリーマーケットを開きました。会員さんのご協力で部屋、廊下いっぱい品が集まりました。思いがけない物が受たり、(これいる?)みたいな品物も喜んでくれました。あっという間にほとんどなくなりました。

料理を作ってあのお皿に！寒い日はあのカップでコーヒーを！と思うとワクワクします。(佐藤 八重子)



運営委員会からのお願い

夢っくすのモットーは『できる人ができる時にできることを』ですが、実情は大きなイベントを行うためには、運営委員会のメンバーの存在なくしては行事を行うことができません。それがここ数年運営委員の人数が足りずに今まで行っていた多文化理解講座、高田観桜会などの大きなイベントが存続の危機にあります。運営委員と言っても毎回何かをやらなければならないということではなく、例えば、Chat in English の世話役を交代でやって頂いたり、日本語チューターの世話役等一つでも、単発でもイベントの手伝いをやってくださる方を募集しております。一人でも多くの会員が積極的に会の活動に参加して頂ければ、夢っくすの活動の幅も広がると思います。運営委員はちょっとと思われる方も、一つでも活動に積極的に関わってみたいという方がいらっしゃいましたらご連絡下さい。お待ちしております。



新年会のお知らせ

以下の日程で新年会を行います。
昼食の料理は持ち寄り形式です。

日 付：1月21日(日)
時 間：11:00~14:00
場 所：国際大学 スナックラウンジ
(通称：カフェ・ノー・プロブレム)

問合せ：櫻井 徳治 025-772-4589

皆様のご参加をお待ち致しております。

ベトナム訪問記（秋号からの続き） 高橋 勇

旅行で悩むのが土産です。ベトナムの学生さん達を家に招待すると、彼らはベトナムコーヒーやお菓子などのお土産を持ってきてくれました。その中で母と妻が気に入っていたのが「カシューナッツ」と「ドライフルーツ」でしたので、日本への土産は出発前からそれと決めていました。しかし、それらは重くてかさばるので「まとめて買って送ってしまえば荷物にならない。」と考え、2日目にホーチミンで一番大きな「ベンタイン市場」に行き、学生さんから値切ってもらった上で段ボール箱に詰めてもらいました。そして意気揚々とタクシーで郵便局に持って行ったのですが、家に着くのが3週間後と聞いて断念し、結局日本までスーツケースの上に乗せて運ぶ羽目になりました。



田舎の披露宴
このおじさん達に一気に飲みをさせられました。

私の出席した結婚式がベトナムの一般的な式かどうか分かりませんが、花婿の家と花嫁の家が近かった為か、まず花婿側の親族等が貢物を持って花嫁宅に行き、飾り付けられた仏壇の前で結納の様な儀式を行い、次に花嫁側の親族も一緒に花婿の家へ移動して同様に仏壇の前で儀式が行われました。それが終わると両家の親族と一緒に披露宴会場へ移動し、両家の関係者300人位で昼食を兼ねた披露宴が行われます。新郎新婦の家はホーチミン市内から車で1時間位の閑閑な場所でしたので、教会の一角で行われた披露宴は日本の田舎の宴会の様でした。

そして夜にはホーチミン市内のホテルで、新郎新婦の友人や知人を招待しての披露宴が行われました。ホテルでの披露宴は、日本の一般的な披露宴とほとんど変わらないものでした。それに比べると、田舎の披露宴は時間や形式にとられない何ともおおらかなものでした。形式的なものは新郎の父親の挨拶と、新郎新婦が各テーブルを回っての挨拶があるだけ。テーブルにまだ空席が目立つ状態であっても飲食が始まり、「お開き」の挨拶もないので、食べ終わったテーブルの客から順に帰って行くというものでした。客が帰って席が空くと会場係がすぐにテーブルを片付け始めますが、ゴミはテーブルの下に置くのが普通らしく、空いたテーブルの下はゴミだらけでした。料理は大皿で順番に運ばれて来てどれも美味しかったのですが、ビールは350mlの常温の缶ビールが24本入りの箱のまま各テーブル脇に置かれ、テーブルに置かれたジョッキに氷係りが氷を入れて回るシステムでした。

会場にはステージがあり、カラオケの設備もあって音楽係りもいましたので、酔いが回ればカラオケを歌う客が何人も出てくると思っていましたが、歌ったのは一人だけでした。その後は、ベトナムの音楽が大音量で流れているだけで「せっかく日本から来たんだから日本をアピールしよう。」と思い、新郎に私の紹介を頼んでステージに上がり、宮崎民謡の「いもがらぼくと」を歌ってきました。お客さんに身振り手拍子を求め、伴奏なしの生歌を披露したところ大受けで、その後あちこちの席でビールを勧められました。私にはあらたまったホテルでの披露宴より、ざっくばらんな田舎の宴会が向いている様です。（次号に続く...）

新会員のご紹介

No.503 今村 朱（魚沼市）

★よろしくお祈りします★

会員更新のお願い

今月より平成30年度の会員更新の受付を開始します。会費は下記の口座にお振り込み頂くか、夢っくすサロン（毎週土曜13:00~15:00）に直接お持ちください。皆様の更新をお待ち致しております。

会費振込み郵便局口座

会費：3,000円（個人会員）

家族会員：1,500円

団体会員：1口10,000円で任意の口数

口座番号：00550-7-74672

口座名称：うおぬま国際交流協会

UMEX うおぬま国際交流協会

UONUMA Association for Multicultural EXchange



〒949-6609

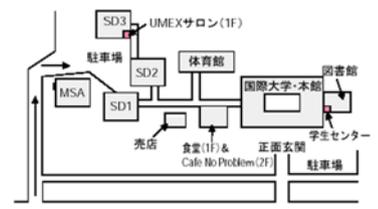
新潟県南魚沼市八幡35-7
うおぬま国際交流協会（夢っくす）事務局

夢っくすサロン（国際大学第3学生寮1階）

TEL/FAX: 025-779-1520

E-Mail: office@umex.ne.jp

URL: <http://www.umex.ne.jp/>



担当者連絡先

高橋（会長、担当：サロン、多言語など）:070-5083-3123

櫻井（副会長、担当：イベントなど）:080-6608-4830

森山（担当：広報）:090-6945-9402

角屋（担当：キッズ）:090-8773-0329

【編集後記】

明けましておめでとうございます。昨年は今までになく雪の降り始めが早く、年末・年始も雪模様の日々が続いておりますが、皆様はどの様にお過ごしでしょうか？今年もどうぞ宜しくお願い致します。(toshi)